

# 青年隊OB会報

産業開発青年隊65周年大会



発行  
産業開発青年隊 同窓会

65周年  
特集号

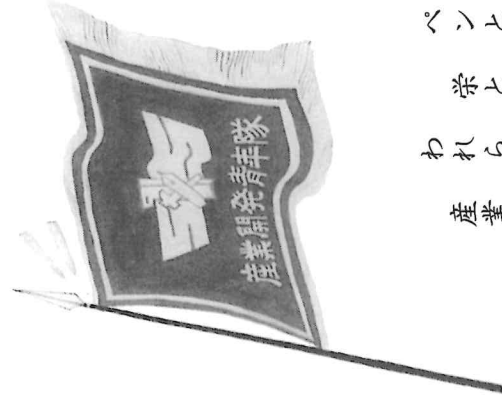


参加者全員で記念撮影

## 不屈信念



総会風景 あいさつする栗田富夫前会長



産業開発青年隊

われら若人 若人われら

栄とほまれと希望はもえる

ペンとハンマーの輝くしるし

祖国のためにと 正しくはげむ

常にまことを つらぬきすすみ

### 産業開発青年隊 隊歌

一、われらは 不屈の信念をもつて  
創設の大業を達成せんことを誓う

一、われらは 友愛と団結をもつて  
理想の社会を建設せんことを誓う

一、われらは 産業開発に挺して  
人類平和のためにつくさんことを誓う

### 青年隊綱領【誓いの言葉】

## 目次

産業開発青年隊創立65周年記念大会 式次第	1
会長あいさつ 栗田富夫	2
参加者・招待者、決算報告	3
新役員名簿	4
功労者表彰	5
来賓祝辞 元中央訓練所訓練教官 西田 博氏	6
来賓祝辞 南米産業開発青年隊協定会会長 渡邊 進氏	7
来賓祝辞 東南アジアブロック会長 ティグ・ブディオノ氏	8
新会長あいさつ 鈴木浩明	9～11
65周年記念講演 大久保俊輝氏	11
沿革	12
寄稿「最後の武人 吉留一利」 土橋 聡	13～22
スナップ	23～24
編集後記	25

# 産業開発青年隊65周年記念式典

## 物故者慰霊祭



開催趣旨を説明する  
鈴木浩明実行委員長



おれのあいさつをする  
吉屋先生の「息女」  
(伊藤喜子さん、赤池葵子さん)

## 総会、記念式典 式次第

産業開発青年隊65周年記念式典 第一部  
 時間 13時30分～  
 場所 留魂の碑前(正門前)  
 司会 菅井文明事務局長  
 物故者慰霊祭  
 開式の辞 菅井文明事務局長  
 開催趣旨説明 鈴木浩明実行委員長  
 鎮魂の儀 山屋 登 様  
 物故者慰霊法要式 竹管欣定 本間 洋 様  
 出座 興徳寺住職 松永 崇 様  
 本源寺内 本間 妙 廣 様

1. 御題目三唱
2. 道場囃
3. 勧請
4. 開経囃
5. 方便品
6. 自我願 (参列者読香)
7. 祖訓 異体同心事
8. 唱題
9. 回向
10. 四誓
11. 奉送
12. 御題目三唱 本源寺住職 本間光信 様
13. 導師法話 南米産業開発青年隊協会会長 渡邊 進 様
14. 挨拶 菅井文明事務局長
15. 閉式の辞

産業開発青年隊同窓会総会  
 時間 14時30分～  
 場所 講堂(本館2階)  
 司会 菅井文明事務局長  
 次 第  
 一、 閉会の辞 近畿ブロック長 太田佳男  
 一、 会長挨拶 会長 栗田富夫  
 一、 議長選出 (会則により 会長 栗田富夫)  
 一、 議事 (1) 建て替え支援金報告の件 (説明 事務局長 菅井文明)  
 (2) 新役員報告の件 ( " " )  
 一、 その他 今後の同窓会運営体制について(卒業年度幹事の選出)  
 一、 閉会の辞 中部ブロック長 堤 功

産業開発青年隊65周年記念式典 第二部  
 時間 15時～  
 場所 講堂(本館2階)  
 司会 菅井文明事務局長  
 次 第  
 一、 同窓会会長挨拶 会 長 栗田富夫  
 一、 功労者表彰 光森徳雄 様  
 伊達 徹 様  
 福岡功和 様  
 一、 来賓祝辞 元中央訓練所訓練教官 西田 博 様  
 南米産業開発青年隊協会会長 渡邊 進 様  
 一、 ご来賓紹介 東南アジアブロック会長 ティグ・ブディオノ 様  
 一、 吉留先生ご息女挨拶 伊藤喜子 様、赤池葵子 様  
 一、 祝電披露 祝電披露  
 一、 記念講演 近細亜大 特任教授 大久保俊輝 様  
 「テーマ：命をかけて未来を育てる」  
 東海ブロック 渡辺 喜久  
 東海ブロック  
 九州ブロック 野見山 盛夫



ごあいさつ



産業開発青年隊同窓会 会長  
栗田 富夫

今日は産業開発青年隊創立65周年記念大会に、ご多忙の中ご出席賜りまして、誠にありがとうございます。

ブラジルの南米産業開発青年隊協会から渡辺会長、インドネシアから東南アジアブロック長のブデオノ様もご出席いただきました。心より厚く御礼申し上げます。

さて、この65周年記念大会を前に、9月8日、吉留先生がご逝去されました。父が亡くなったようで、とても寂しく思います。今ま

で本当にお世話になりありがとうございました、その言葉しか出てきません。心

よりご冥福をお祈り致します。

産業開発青年隊も、昭和28年に創立されましたが、昭和28年から閉校になった平成8年まで考えますと、私が48年度卒でありまして、ちょうど真ん中に当たります。この大会でも、各地でのブロック大会でも、

もっと若い層の方々が出席していただけると良いのと思っています。

この青年隊も新人が生まれてこない組織でありますので、どの様に運営、発展させていくのか悩ましい限りです。

同窓会も各年度の横の繋がりは強いものの、縦の繋がりは弱いように思います。これからは皆様のご協力をいただいて縦の活動の

場を拡げていけたらと考えしております。若い人達ももっと前に出て、活動していただける同窓会にする為に、私より10歳若い鈴木浩明さんに次期会長をお願い致しました。どうか皆様、鈴木新会長を支えていただきますよう、宜しく願い致します。

昔、長沢先生とお会いすると、よく言われたことがあります。

「何の仕事をしていてもよいが、青年隊らしく生きて行け。中訓は生き方を学ぶ場所であり、修了生、卒業生の生き様そのものが青年隊だ」。そんなことを言われました。今の日本は経済的には豊かになりましたが、人としての情がどんどん薄くなっているように思いま

す。痛ましい事件を聞くにつれ、今の時代にこそ、私達が学んだ青年隊精神が必要とされるのではないかと強く感じます。皆様とお会いでき、昔に戻る、忘れていたものを思い出す、それだけでも心豊かになったような気がします。

皆様に支えていただくばかりで恐縮ではあります。が、どうか長沢先生の魂の灯を消さないように、皆様方には更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本日皆様方にお持帰りいただき、どうか長沢先生の遺稿集「富士の如く」ですが、光森前会長の物心両面でのご支援により発行されたものです。この場をお借りして、光森前会長に厚く御礼申し上げます。

皆様方のご健勝と次回70周年の再会を祈念して、開会の挨拶とさせていただきます。

今日は誠にありがとうございます。

### 招待者 (敬称略)

升ノ内泰子	本間光信
西田博	本間妙廣
増田文雄	伊藤喜子
渡邊進	赤上泰子
渡邊和美	鈴木伸二
ティガ、ブダイオノ	鈴木 恵
モニカ、ティウフアニー、ブダイオノ	

### 65周年記念大会参加者 (五十音順・敬称略)

赤池政雄	小澤 順	菅井文明	田中典明	村松英夫
明石博嗣	梶野 茂	菅井保彦	谷本 靖	望月 一
秋吉健次	片平 剛	杉村義秀	辻 信彦	望月 晴正
井賀秀二	加藤五男	釘崎シズ子	土田吉徳	森 仁史
石川祐三	北嶋 隆	〃 お姉様	堤 功	東川洋平
井出昌史	木下政喜	杉山忠一	坪井敬師	平井雅之
井上伸一	栗田富夫	鈴木徳男	戸塚康之	兵頭 博
井上れい子	黒田鎮明	鈴木利一	土橋 聡	〃 奥様
岩井尚吾	後藤俊夫	鈴木正夫	富重 修	福岡功和
岩下峰雄	小長谷正弥	鈴木 肇	渡村康男	星野和夫
市川光信	小宮国盛	鈴木浩明	西田鉄美	矢後忠士
市村憲治	米野七三雄	高沢 正	西田萬世	山川庄藏
上野方広	酒井宏治	高橋 健	野島幸和	山路逸也
内海 孝	酒井 剛	高橋 正	野見山隆夫	山田幸男
大石哲也	笹倉隆悦	高橋溥明	原 司	山本節夫
大江 清	佐藤正壽	多賀正幸	福澤 浩	柳瀬徳男
大久保俊輝	塩川 進	瀧 三義	光森徳雄	渡辺清一
大野博俊	芝川 修	竹本康司	水野貴志	渡辺喜久
太田佳男	白砂 昌一	田代欣也	松島崇浩	
岡部英明	新堀 徹	田中 悟	松永泰然	

## 創立65周年記念大会 決算報告

令和元年6月15日

収入

単位：円

科目	決算額	備考
1 会費	785,000	5,000円/一人当り
2 賛助金	2,209,218	2,000円/個人 10,000/企業
3 ご祝儀	210,000	
4 雑収入	0	
5 繰越金	0	
合計	3,154,218	

支出

科目	決算額	備考
1 事業費	2,538,469	
(1) 大会費	1,687,569	
(2) 会報発行費	850,900	会報600部 DVD700枚
会議費	178,620	大会準備役員会他
(1) 会議費	178,620	
(2) 交通費	0	
3 事務費	194,102	大会準備役員会他
4 資料館維持積立金	243,027	
合計	3,154,218	

### (1)大会費内訳

1 施設使用料	62,000	富士教育訓練センター内
2 輸送費	36,300	送迎バス等 (1回)
3 懇親会費	500,000	会費 (80名) 朝霧フードパーク
4 宿泊代	296,000	74名
5 郵便代	684,077	はがき案内状発送、会報発送
6 記念品代	109,192	光森様、福岡様、伊達様記念品 他
計	1,687,569	

# 産業開発青年隊新役員名簿

平成31年4月～

役職名	氏名	備考	卒業年度
会長	鈴木浩明	新任	S59
副会長	平井雅之	新任	S48
事務局長	菅井文明		S47
北海道ブロック	渡村保男	新任	S48
東北ブロック	阿部正之		S49
関東ブロック (副会長兼務)	釣巻繁		S55
東海ブロック	渡辺喜久	新任	S63
中部ブロック	北嶋隆	新任	S59
北陸ブロック	金澤修二		S45
近畿ブロック (副会長兼務)	太田佳男		S54
中国ブロック	岩倉省三		S46
四国ブロック	内海孝		S45
九州ブロック	野見山隆夫		S46
沖縄ブロック (副会長兼務)	大石哲也		S47
南米ブロック	渡邊進		S46
東南アジアブロック	ティグ・ブディオノ		S56
監事	松永泰然		S45
”	村松英夫	新任	S46
相談役	光森徳雄	新任	S45
”	中島準二		S46
”	福岡功和		S46
”	木下政喜		S39
名誉会長	栗田富夫	新任	S48
顧問	西田博		恩師
”	本間光信	新任	

# 彰表者労働功



光森徳雄さん



伊達徹さん(代理)



福岡功和さん

## 来賓祝辞



元中央訓練所訓練教官

西田 博氏

建設大学校中央訓練所の発展的解散から30年近くになる昨年産業開発青年隊65周年記念大会が青年隊のメッカ朝霧高原旧中央訓練所（現富士教育訓練センター）で国内、海外から多くの方が参加し盛大に行われ感激しました。

周囲には牧場しかない富士の裾野で冬はマイナス10度を超える厳しい環境でスパルタ式集団生活を受けた絆の強さと長沢所長への敬愛を改めて認識させられました。

顧みますと約60年前、長沢所長が建設省課長補佐の

立場で「青年よ、富士の如く、美しく雄大に、尊厳なれ」の高い理想を掲げて、建設省内はもとより政治家

や有志に働きかけて、富士の裾野の原野に建設大学校中央訓練所を開講することが出来たことに改めて驚くとともにその情熱に敬服する次第です。何事にもあきらめずに情熱を持ち続けることの大切さを教えられた気がします。

私が指導員として赴任した昭和40年は開講まもない時期で、建物は本館しかなく宿舎棟の敷地造成や根原集落からの水道工事は丁張から土工工事まで実習訓練として施工しました。実習訓練とは名ばかりの今では考えられないような重作業でしたが、精神力と机上では学べない土木技術の基礎を習得できたと思っています。

その後、昭和50年に中央訓練所を離れて関東地方整

備局に転勤しました。当初は経験のない仕事で幾多の困難に直面し挫けそうになりましたが、長沢所長の仕事への情熱と厳しい指導を思いだして乗り越えることができました。中央訓練所の10年間が無駄でなかったとつくづく感じております。しか

し、多くの職員の方は長沢所長の理念を理解できないまま数年で転出され青年隊との交流がないことに寂しい思いがあります。

近年、集中豪雨等により各地で災害が発生しておりますが、当時はこれらの災害に青年隊を派遣してきました。北陸豪雪、宮古島台風、高知台風及び伊豆諸島利島村の開発等多くの災害復旧で実績を残しています。

とくに、昭和42年の宮古

たお祖母ちゃんの言葉は今でも忘れません。

宮古島災害派遣の記念として地元と協力して宮古島市熱帯植物園内に「派遣記念碑」を建立してきましたが、平成25年に約46年ぶりサンテックインターナショナル木下社長（当時）と訪ねましたが、記念碑は健在で青年隊活躍の痕跡が遠い南の島に残されていることに感激しました。

最後に同窓会開催にご尽力いただいた会長を始め役員の皆様にお礼を申し上げますとともに、富士教育訓練センターのご協力とくに菅井専務理事に感謝する次第です。

修了生皆様の益々のご活躍とご健勝を祈願するとともに次回開催を楽しみにしております。

## あきらめずに情熱持ち続ける大切を



## 来賓祝辞



南米産業開発青年隊協会 会長

## 渡邊 進氏

産業開発青年隊同窓会総会創立65周年記念式典の開催、誠におめでとございます。ご存じない方もおられると思われまので、簡単に南米産業開発青年隊の紹介をさせていただきますと思います。

一昨年の2016年にはサンパウロから350㎞離れております、アバレという小さな町のリゾートホテルで、ブラジル南米産業開発青年隊移住60周年記念大会を開催しました。その折には、日本からの先輩、後輩、またその御家族、総勢12

名の皆様にお祝いに駆けつけていただきました。この場をお借りしましてあらた

めてお礼申し上げます。誠にありがとうございました。南米産業開発青年隊は1956年、昭和31年5月、17名がブラジル移住者で作り上げた農業組合、コチア産業組合枠の受け入れで、オランダ船、ルイス号で横浜港を出発、同年6月9日にサントス港に着いており

ます。南米産業開発隊はここからが始まりでした。そしてそれからの60年を、2016年に迎え、大きな大会はこれで最後になるだろうという思いで、60周年をお祝いしました。第1次、それから1964年までに10期、それ以降の単独移住の11期まで含めまして、総移住者328名。2018年9月30日現在で121名の同士がなくなっておりま

## 青年隊教育の素晴らしさを伝える

す。帰国者51名、消息不明者18名、このようになっています。南米産業開発青年隊平均年齢が79歳になりました。79歳になりましたが、まだ138名の青年隊が南米に元気で暮らしております。まだまだ公私ともに頑張っております。南米産業開発青年隊の今を簡単

に紹介しました。

さて、我々青年隊の基本教育方針であります、理論と技術の修得、共同生活、団体訓練で学ぶ、社会性、人間性、なんとバランスのとれた教育でありました事か。今のこの忙しい時代に、無くてはならないものが、あの時代からの青年隊教育に満ち溢れていました。皆様同様、その青年隊の一員であることをたいへ

ん誇りに思います。青年隊の形、組織は無くなりましたが、そうなったあともこのように、仲間が集い、結束かたく、継続しています。これこそ創立65周年をお祝いするに当たり、長沢先生から我々が引き継いで、引き継ぐべき青年隊魂

ではないかと思えます。これからの青年隊は、小さな事と思いがちですが、伝えていく事。子や孫はもちろん、身近な人たちに、青年隊教育の素晴らしさを伝えていく。今とちよっと昔を繋いでいく、それが永遠の青年隊に繋がっていくものと思えます。

日暮れて道遠し。一生懸命生きました。できる限りの事はすべてやった、もう頑張れないほど頑張った、しかしまだ道はつづきます。道に終わりはありません。明日からまた頑張るぞ。産業開発青年隊はこのような気持ちでこれからも頑張っていこうではありませんか。本日は65周年記念大会はんとうにおめでとございます。青年隊同窓会のみなさまの明るい明日を祈願してお祝いの言葉とします。

## 来賓祝辞



東南アジアプロフェッショナルズ 会長

### テイグ・ブデイオノ氏

1983年の卒業生のテグ・ブデイオノです。卒業後シンガポールの小川淳先輩の会社に入社し、1985年に鹿島マレーシア現地採用で移転し、1990年にインドネシアの鹿島合弁会社に入社して今現在顧問の役職をしております。会社は不動産会社で有名なショッピングセンター、オフィス、アパート、ホテルを経営管理しています。2014年に栗田先輩がインドネシアに会社を設立して測量、施工管理、インフラ分野における事業のソフト

ウェアの事業を従事しています。2015年から2017年にかけて、小川淳先輩のインドネシアの会社を外資系会社に再編し、インドネシアでは浚渫など海上工事分野で大企業になっています。私は2011年に定年退職し、その退職金で約4畝の土地を買って農業を始めました。人間の年齢と健康状態の向上は、私が若いときは

まったく違います。私は昨年10月に大腸の腫瘍が見つかり、その手術をし、その後治療して8月に終わることができました。無事生かしていただけることを神様に感謝いたします。そして皆様にお礼を申し上げます。これからはさらに元気になってより一層頑張りたいと思います。

私は会社以外の活動はショッピングセンター協

## 人生にとって大きな経験

会、インドネシアビジネス協会、インドネシア元留学生協会、インドネシア日本友好会、教会財団会長、インドネシア元留学生財団委員で活動しております。私をより熱心にして、幅広いネットワークを構築する多くの活動ができること。そのことにより、現在私はこ

こにいる機会を与えられています。本当に私は大きな利益を得ることができたと感じます。ここで講義を受けたことは私の人生にとって非常に大きなものがあります。私たちは身体的、精神的、社会的に有用な人間であるべく訓練をうけてきました。

私は建大時代、寝食共にして勉強をし、喜びや悲しみを共有しました。その経

して心より感謝申し上げます。

創始者の長沢先生が目指した誓いの言葉を良い生活の中で実現することができれば幸いです。

